

癒しか赦しか

シリーズ～福音の力～

2020/1/19

ルカによる福音書5章17～26節

ある日のこと、イエスが教えておられると、ファリサイ派の人々と律法の教師たちがそこに座っていた。この人々は、ガリラヤとユダヤのすべての村、そしてエルサレムから来たのである。主の力が働いて、イエスは病気をいやしておられた。すると、男たちが中風を患っている人を床に乗せて運んで来て、家の中に入れてイエスの前に置こうとした。しかし、群衆に阻まれて、運び込む方法が見つからなかったので、屋根に上って瓦をはがし、人々の真ん中のイエスの前に、病人を床ごとつり降ろした。イエスはその人たちの信仰を見て、「人よ、あなたの罪は赦された」と言われた。

ところが、律法学者たちやファリサイ派の人々はあれこれと考え始めた。「神を冒瀆するこの男は何者だ。ただ神のほかに、いったいだれが、罪を赦すことができるだろうか。」イエスは、彼らの考えを知って、お答えになった。「何を心の中で考えているのか。『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか。人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」そして、中風の人に、「わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい」と言われた。その人はすぐさま皆の前で立ち上がり、寝ていた台を取り上げ、神を賛美しながら家に帰って行った。人々は皆大変驚き、神を賛美し始めた。そして、恐れに打たれて、「今日、驚くべきことを見た」と言った。

連れてこられた「中風の人」

イエス様の噂はガリラヤ全体に広まっていた

- 特別な力をもって病人をいやしている

イエス様に触れていただこうと思った

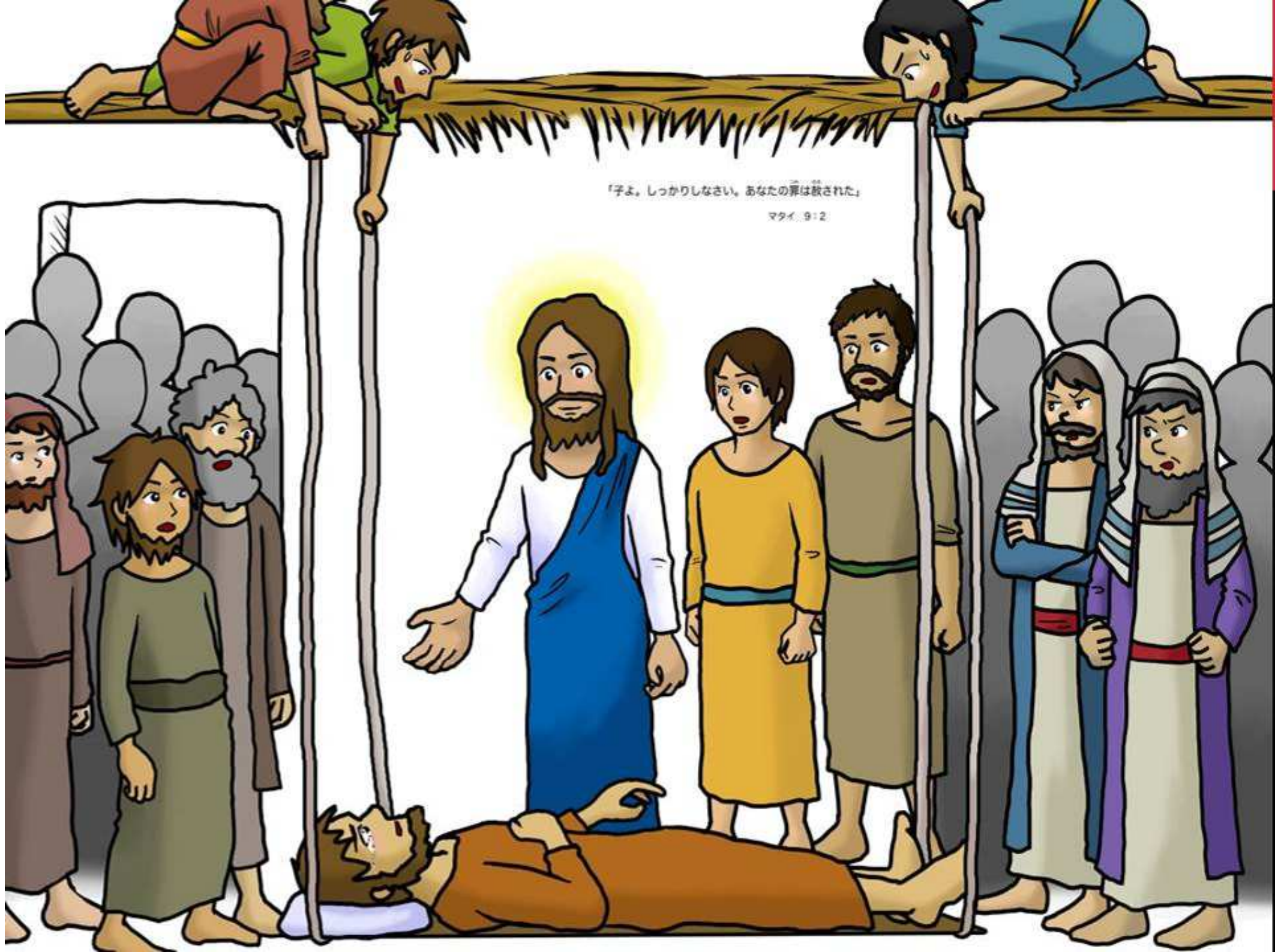
- 本人が頼んだか、連れてきた人たちの発案か？

イエス様のおられる家に来たが入れなかった

- 家の外まで人が溢れていた

屋上に上がり、イエス様のおられる辺りの屋根をはがし、吊り下ろした

- 当時の家は梁の上に枝を敷き土で固めていた
- 下の部屋は大騒ぎになったことだろう



「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪は赦された。」

マタイ 9:2

「あなたの罪は赦された」

イエス様は「その人たちの信仰を見て」言った

- 本人を含む連れてきた人たち
- 触れてもらえば治ると信じていた＞御利益？

律法学者たちやファリサイ派はつぶやいた

- 「神を冒瀆するこの男は何者だ。ただ神のほかに、いったいだれが、罪を赦すことができるだろうか。」

中風の人や連れてきた人たちはどう思ったか？

- “罪を赦すより、病気を治してください！”

罪と病気の関係

当時のイスラエルでは病気は“**個別の罪**”の結果だと信じられていた

- 罪が重いほどひどい病気になる

病気や障害は“**個別の罪**”の結果ではないが、罪と無関係ではない

- 神から離れたことで病気がこの世界に入った？

病気の癒しはメシヤのしるしであった

- 「捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし…」ルカ4:18

なぞの質問

『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか。

どちらが易しいと思いますか？

- 言葉にするだけなら「罪は赦された」が易しい

罪の赦しの方が比較にならないほど難しい

- 病気の癒しは偶然起こることもある
- 罪の赦しは律法学者たちが言うとおりに神だけができる特別なこと

イエス様はご自分が神であることを示された

- 「人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」

癒しか赦しか

即座に癒された中風の人

- その人はすぐさま皆の前で立ち上がり、寝ていた台を取り上げ、神を賛美しながら家に帰って行った

癒しは人間にとって望ましいが、神にとって重要なことは罪の赦しである

- 罪の赦し＝神様との関係回復＝永遠の命
- いずれまた病気になり最後は死に至る

どのような同機であれ、イエス様に頼るなら、罪の赦しが与えられる

- 私たちの罪のために死なれた(る)から

福音の力

「わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。」ローマ1:16

信じた人にもたらされた「救い」

- 罪の赦し+中風の癒し

「神の力」を感じた中風の人

- 「神を賛美しながら家に帰って行った」

イエス・キリストとの出会いこそ救いである

- 人間には本当の救いが何であるか実は分からない